



「減量等計画書」等の記載について

令和元年5月29日

川崎市環境局生活環境部減量推進課

多量排出事業者の責務

(川崎市廃棄物の処理及び再生利用等に関する条例より)

①減量等計画書・フローシートの提出

→提出期限:毎年6月21日(金)

※ヒアリング最終日を提出期限としています。

②事業系一般廃棄物管理責任者の選任及び届出

→選任・変更があった場合(30日以内に)、
未提出の場合は御提出をお願いします。

③廃棄物管理票の使用

準多量排出事業者の責務

①減量等計画書の提出

→提出期限:毎年6月28日(金)

減量等計画書・フローシートについて

◎減量等計画書の記載内容

- ・事業所における廃棄物に関する責任者
- ・廃棄物の管理、教育体制等
- ・資源化等の取組
- ・事業所で発生する廃棄物の種類
- ・排出量

◎フローシートの記載内容

- ・従業員数、来場者数、面積、廃棄物保管場所
- ・建物の利用状況
- ・廃棄物の回収・運搬業者
- ・廃棄物の処分・運搬先

- ◆ 自らの事業所から排出される廃棄物の種類、排出量や最終的な行先等を把握していただく。
- ◆ 減量等計画書・フローシートは作成・提出して役目を終わるものではなく、
 - ・自らの事業所から排出される廃棄物について知る機会
 - ・自らの取組を見直す機会
 - ・新たな減量化・資源化について検討する機会として活用していただく。

減量等計画書(多量用)

令和元年度多量用減量等計画書の提出期限は令和元年11月30日までです。

提出期限：令和元年11月30日

①(先) 取扱業者

納付部 申

事業所の所在地

事業所の名称

事業所の取扱業者

印

当該事業所の処理区域所在地を別冊第一編の別冊第19表第1項の規定により、令和元年度の減量等計画書に記すことにより提出します。

事業所の区分	製造・加工・流通	
事業・業務の種類	製造	製造内容
事業所主任者の氏名	区名 _____ 印 所名 _____ 職名 _____	
事業所の種類	製造用 製造工場 製造用 建設現場 製造用 建築現場 製造用 倉庫 製造用 その他 _____	
削減率(%)	削減率	削減率
	削減率	削減率
削減率の算出方法	削減率	削減率
	削減率	削減率
削減率の算出対象	削減率	削減率
	削減率	削減率

令和元年度削減率				
削減率	削減率	削減率	削減率	削減率
削減率	削減率	削減率	削減率	削減率
削減率	削減率	削減率	削減率	削減率
削減率	削減率	削減率	削減率	削減率
削減率	削減率	削減率	削減率	削減率
削減率	削減率	削減率	削減率	削減率
削減率	削減率	削減率	削減率	削減率
削減率	削減率	削減率	削減率	削減率
削減率	削減率	削減率	削減率	削減率
削減率	削減率	削減率	削減率	削減率
削減率	削減率	削減率	削減率	削減率

※ 削減率の算出方法は別冊第一編の別冊第19表第1項の規定により、令和元年年度の減量等計画書に記すことにより提出します。

削減率の算出対象は別冊第一編の別冊第19表第1項の規定により、令和元年年度の減量等計画書に記すことにより提出します。

削減率の算出方法は別冊第一編の別冊第19表第1項の規定により、令和元年年度の減量等計画書に記すことにより提出します。

削減率の算出対象は別冊第一編の別冊第19表第1項の規定により、令和元年年度の減量等計画書に記すことにより提出します。

減量等計画書(多量用) 左記入欄①

事業場の名称
建物名(管理会社)

事業場の代表者名
社長名、店長名、管理責任者(管理会社)
※ 印鑑は、社印、代表者印、認印
(シャチハタは除く)

事業者の区分
所有(建物等を所有している)
占有(建物等を賃借等している)
管理(建物等を管理等をしている)

業種・業務内容
正確な業種分類や記載文言まで求めません。わかりやすく具体的内容を記載願います。
ex) 小売業/コンビニ
製造業/電子回路の開発、製造
社会福祉事業/デイサービス
など

事業系一般廃棄物管理責任者
廃棄物処理について、処理状況、委託状況を把握している方(必ずしも上記の代表者である必要はない)

事業場の所在地

認定番号			
	事業場の名称		
	事業場の代表者名 印		

川崎市廃棄物の処理及び再生利用等に関する条例第19条第1項の規定により、令和元年度の減量等計画を次のとおり提出します。

事業者の区分	所有・占有・管理		
業種・業務内容	業種	業務内容	
	事業系一般廃棄物管理責任者	氏名 _____	印
	所属 _____	電話 () _____	
廃棄物の管理等	廃棄物管理組織	有・無	分別ストックヤード
	廃棄物管理規定 社内教育	有・無 有・無	処理施設
資源化の状況	資源化物名	回収業者名	住所
	1 2 3		電話

押印お忘れなく!

事業系一般廃棄物管理責任者
廃棄物処理について、処理状況、委託状況を把握している方(必ずしも上記の代表者である必要はない)

種
新
段
そ
の
厨
空
空
そ
合
種
新
段
そ
の
厨
空
空
そ
合
注

減量等計画書(多量用) 左記入欄②

廃棄物の管理等

- ・廃棄物管理組織(委員会やワーキンググループ等)を設置の有無
- ・社内教育(社内会議や社内広報媒体を用いて分別の徹底を行っているか)
- ・処理施設(生ごみ処理機等の有無)

減量・再生利用等の取組

「実績」記入例

- ・環境月間等を設置し、減量・分別のPRを実施
- ・機密書類の溶解処理による再資源化

「計画」記入例

- ・プロジェクター使用による会議資料等の減量化
- ・業者を通じての魚腸骨の肥料化

再生品等の使用

「計画」記入例

再生紙の利用、エコマーク商品の導入



認定番号

事業場の所在地

事業場の名称

事業場の代表者名

印

川崎市廃棄物の処理及び再生利用等に関する条例第19条第1項の規定により、令和年度の減量等計画を次のとおり提出します。

事業者の区分	所有・占有・管理			
業種・業務内容	業種	業務内容		
事業系一般廃棄物管理責任者	氏名 _____ 印 所屬 _____ 電話 () _____			
廃棄物の管理等	廃棄物管理組織 廃棄物管理規定 社内教育	有・無 有・無 有・無	分別ストックヤード 処理施設	有・無 有・無
資源化の状況	資源化物名	同一事業者名	住所	電話
	記入例(別添)をご覧ください			
	1			
	2 3			
減量・再生利用等の取組	実績			
	計画			
再生品等の使用	実績	用紙類 (OA用紙・複写用紙・トレットペーパー・事務用品 雑品類 エコマーク商品)		
	計画	記入例(別添)をご覧ください		

種
新
段
そ
の
厨
空
空
そ
合
種
新
段
そ
の
厨
空
空
そ
合
注

減量等計画書(多量用) 右記入欄

書(事業系一般廃棄物多量排出事業者用)

年 月 日

平成30年度実績

【資源化量】

資源化施設(民間業者)に搬入した量
(収集運搬業者に委託した量を含む)及び資源物として収集運搬業者に委託した量

【事業場内処理量】

事業場内の廃棄物処理施設で処理した量(ただし、資源化したものは資源化量の欄に記入)

【指定処理施設搬入量】

市の処理施設(指定処理施設)に搬入した量(収集運搬業者に焼却ごみとして委託した量を含む)
※別紙の排出フローシートと必ず合うようにしてください。

令和元年度計画

平成30年度より廃棄物が減量・資源化される計画を立ててください。

平成30年度実績						単位
種別	発生量 ①	資源化量 ②	事業場内 処理量 ③	指定処理施設 搬入量 ①-②-③	資源化率 (%) ②/①	
新聞・雑誌						
段ボール						
その他紙類						
厨芥類						
空き缶						
空き瓶						
その他						
合計						
令和元年度計画						単位
種別	発生量 ①	資源化量 ②	事業場内 処理量 ③	指定処理施設 搬入量 ① ② ③	資源化率 (%) ②/①	
新聞・雑誌						
段ボール						
その他紙類						
厨芥類						
空き缶						
空き瓶						
その他						
合計						

・厨芥類の欄には食品廃棄物(生ごみ)を記入してください。
・空き缶、空き瓶は産業廃棄物ですが、参考までに記載をお願いいたします。

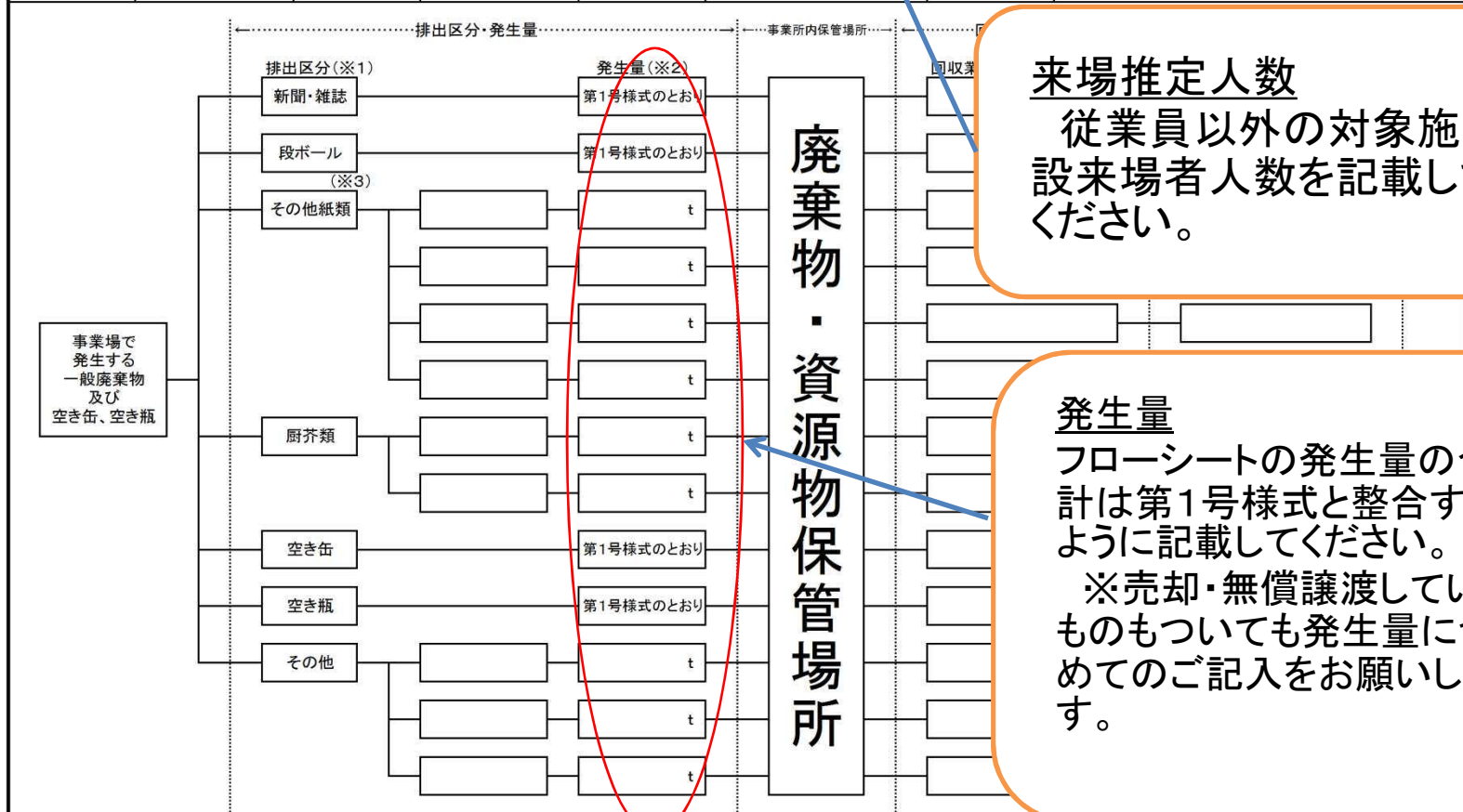
・ペットボトル等の廃プラスチック類及び自動販売機の業者(ベンダー)が持ち帰る缶、ビンについては記入する必要はありません。
・剪定枝、おむつはその他に含まれます。

注1 廃棄物の排出・管理状況フローシートを添付してください。
注2 発生量、資源化量、事業場内処理量、指定処理施設搬入量及び資源化率は、種別ごとに記入してください。

フローシート(多量用)

事業系一般廃棄物の排出フローシート(平成30年度実績値)

認定番号		当該事業場従業員	人	来場推定人数 (1日平均)	人	<input type="checkbox"/> 単独利用
延床総面積	m ²	建築総面積	m ²	廃棄物保管場所	箇所	<input type="checkbox"/> 共同利用(テナント一覧表の提出をお願いいたします。)



来場推定人数
従業員以外の対象施設来場者人数を記載してください。

発生量
フローシートの発生量の合計は第1号様式と整合するように記載してください。
※売却・無償譲渡しているものについても発生量に含めてのご記入をお願いします。

※1 減量等計画書実績欄の項目区分に沿って区分してください。
 ※2 発生量が不明な場合は按分してください。
 ※3 記入例のほかに、チラシ、パンフレット、紙パック等があれば記入してください。

その他事項については記入例(別添)をご覧ください

減量等計画書(準多量用)

第1号様式②

事業系一般廃棄物減量等計画書(事業系一般廃棄物準多量排出事業者用)

年 月 日

(あて先) 川崎市長

認定番号

事業場の所在地

事業場の名称

事業場の代表者名

印

川崎市廃棄物の処理及び再生利用等に関する条例第19条第1項の規定により 令和元年度の減量等計画を次のとおり提出します。

事業者の区分	所有・占有・管理			
業種・業務内容	業種	業務内容		
事業系一般廃棄物連絡担当者	氏名 _____ 印 〒 _____ 電話 () _____			
資源化の状況	資源化物名	回収業者名	住 所	電 話
	1			
	2			
	3			
減量・再生利用等の取組み	実績			
	計画			
再生品等の使用	実績	用紙類 (OA用紙・複写用紙・トランプペーパー・) 事務用品 (ノート・) 雑品類 (せっけん・) ユウマク商品()		
	計画			

平成30年度実績				単位	t/年
種 別	指定処理施設搬入量	資源化量	操 入 先		
新聞・雑誌					
段ボール					
その他紙類					
厨 芥 類					
空き缶					
空き瓶					
その他					
合 計	A	B	A+B		
令和元年度計画				単位	t/年
種 別	指定処理施設搬入量	資源化量	操 入 先		
新聞・雑誌					
段ボール					
その他紙類					
厨 芥 類					
空き缶					
空き瓶					
その他					
合 計	A	B	A+B		

注 指定処理施設搬入量、資源化量及び操入先は、種別ごとに記入してください。

減量等計画書(準多量用) 左記入欄①

事業場の名称
建物名(管理会社)

事業場の代表者名
社長名、店長名、管理責任者(管理会社)
※ 印鑑は、社印、代表者印、認印(シャチハタは除く)

事業者の区分
所有(建物等を所有している)
占有(建物等を賃借等している)
管理(建物等を管理等をしている)

業種・業務内容
正確な業種分類や記載文言まで求めません。わかりやすく具体的内容を記載願います。
ex) 小売業/コンビニ
製造業/電子回路の開発、製造
社会福祉事業/デイサービス
など

認定番号				

事業場の所在地

事業場の名称

事業場の代表者名



川崎市廃棄物の処理及び再生利用等に関する条例第19条第1項の規定により、平成30年度の減量等計画を次のとおり提出します。

事業者の区分	所有・占有・管理			
業種・業務内容	業種	業務内容		
事業系一般廃棄物連絡担当者	氏名	電話 ()		
	所属	住所		
資源化の状況	資源化物質名	回収業者名	住	電話
	1			
	2			
	3			
減量・再生利	実績			

押印お忘れなく!

事業系一般廃棄物連絡担当者
廃棄物処理について、処理状況、委託状況を把握している方(必ずしも上記の代表者である必要はない)

・トイレットペーパー)
)
)

種
新
一
段
そ
の
厨
空
空
そ
合
種
新
一
段
そ
の
厨
空
空
そ
合
注

減量等計画書(準多量用) 左記入欄②

認定番号

事業場の所在地

事業場の名称

事業場の代表者名

印

川崎市廃棄物の処理及び再生利用等に関する条例第19条第1項の規定により、令和元年度の減量等計画を次のとおり提出します。

減量・再生利用等の取組

「実績」記入例

- ・環境月間等を設置し、減量・分別のPRを実施
- ・機密書類の溶解処理による再資源化

「計画」記入例

- ・プロジェクター使用による会議資料等の減量化
- ・業者を通じての魚腸骨の肥料化

事業者の区分	所有・占有・管理			
業種・業務内容	業種	業務内容		
事業系一般廃棄物連絡担当者	氏名 _____ 印 所属 _____ 電話 ()			
資源化の状況	資源化物名	回収業者名	住所	電話
	記入例(別添)をご覧ください			
減量・再生利用等の取組み	実績	記入例(別添)をご覧ください		
	計画			
再生品等の使用	実績	用紙類 (OA用紙・複写用紙・トレットペーパー・事務用品 (ノート・雑品類) エコマーク商品)		
	計画	記入例(別添)をご覧ください		

種
新
一
段
そ
厨
空
そ
合
種
新
一
段
そ
厨
空
そ
合
注

再生品等の使用

「計画」記入例

再生紙の利用、エコマーク商品の導入



減量等計画書(準多量用) 右記入欄

(系一般廃棄物準多量排出事業者用)

年 月 日

平成30年度実績

【指定処理施設搬入量】

市の処理施設(指定処理施設)に搬入した量(収集運搬業者に委託した量を含む)

【資源化量】

資源化施設(民間業者)に搬入した量(収集運搬業者に委託した量を含む)

令和元年度計画

平成30年度より廃棄物が減量・資源化される計画を立ててください。

平成30年度実績				単位	t/年
種別	指定処理施設搬入量	資源化量	搬入先		
新聞・雑誌					
段ボール					
その他紙類					
厨芥類					
空き缶					
空き瓶					
その他					
合計	A	B		A+B	
令和元年度計画				単位	t/年
種別	指定処理施設搬入量	資源化量	搬入先		
新聞・雑誌					
段ボール					
その他紙類					
厨芥類					
空き缶					
空き瓶					
その他					
合計	A	B		A+B	

・厨芥類の欄には食品廃棄物(生ごみ)を記入してください。
 ・空き缶、空き瓶は産業廃棄物ですが、参考までに記載をお願いいたします。

・ペットボトル等の廃プラスチック類及び自動販売機の業者(ベンダー)が持ち帰る缶、ビンについては記入する必要はありません。
 ・剪定枝、おむつはその他に含まれます。

注: 指定処理施設搬入量、資源化量及び搬入先は、種別ごとに記入してください。

ヒアリング日程について (多量排出者のみ)

提出日	区域の指定(事業者様の所在)
6月10日(月)	川崎区
6月11日(火)	幸区、中原区、高津区
6月12日(水)	宮前区、多摩区、麻生区
6月13日(木)	川崎区
6月14日(金)	幸区、中原区、高津区
6月17日(月)	宮前区、多摩区、麻生区
6月18日(火)	川崎区
6月19日(水)	幸区、中原区、高津区
6月20日(木)	川崎区
6月21日(金)	宮前区、多摩区、麻生区

◎受付時間(共通)

午前 9:00~11:30

午後 13:00~16:30

◎実施場所(共通)

川崎市役所第3庁舎

12階 会議室

終盤の日程ほど混む傾向にあり、数十分単位でお待ちいただくこともあります。日程の分散化に御協力願います。



多量排出事業者の方は、ヒアリングまでに事前調査票
(アンケート)の記載についても御協力をお願いします。

